

桐朋アカデミー・オーケストラ

9/26(土)

桐朋アカデミー・オーケストラ

特別演奏会

(ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団のメンバーを迎えて)

オーバード・ホール

開演 14:00(開場13:30)

指揮/デリック・イノウエ

(ニューヨーク・メトロポリタン・オペラ指揮者)

テノール/アルノルト・ベゾイエン

●R.シュトラウス

交響詩「ドン・ファン」作品20

●R.シュトラウス

歌曲

最後の花びらより8つの歌 作品10 より
万霊節、献呈

4つの歌 作品27 より

ツェツィーリエ、ひそやかな誘い、明日の朝

3つの歌 作品29 より

たそがれの夢

5つの歌 作品32 より

私は恋を抱いて、愛の賛歌

5つの歌 作品39 より

解放たれて

●R.シュトラウス

歌劇「ばらの騎士」組曲 作品59

●R.シュトラウス

歌劇「サロメ」作品54 より

「7つのヴェールの踊り」

入場料3,000円(税込)

(全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)

10/24(土)

桐朋学園大学院大学

桐朋アカデミー・オーケストラ

協奏曲のひとつとき

オーバード・ホール

開演 14:00(開場13:30)

指揮/円光寺雅彦

(桐朋学園大学院大学特別招聘教授)

独奏/桐朋学園大学院大学生

※独奏者と演奏曲目は9月に実施する
学内オーディションを経て決定されます。

入場料1,000円(税込)

(全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)

11/20(金)

桐朋アカデミー・オーケストラ

第51回 定期演奏会

オーバード・ホール

開演 19:00(開場18:30)

指揮/小泉和裕

ピアノ/岡田博美

●ラフマニノフ

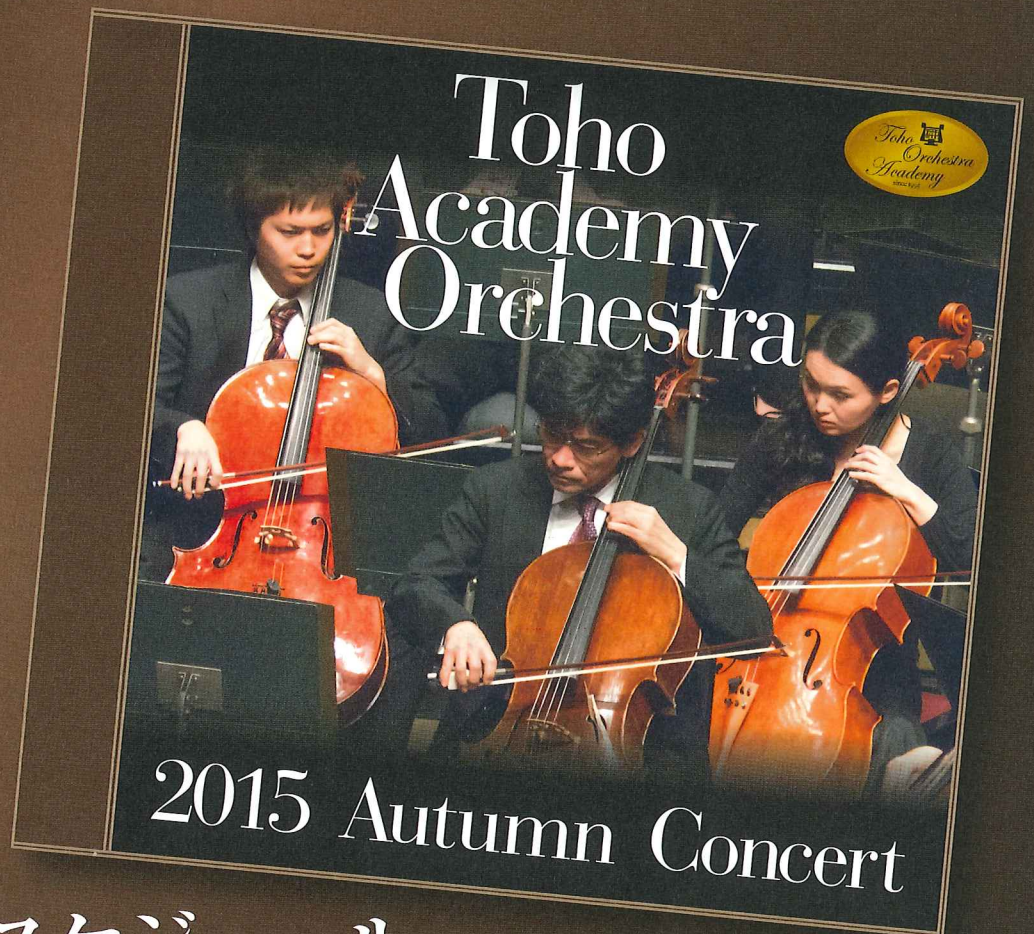
ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 作品30

●ショスタコーヴィチ

交響曲 第5番 ニ短調 作品47

入場料2,000円(税込)

(全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)



2015秋季 コンサート・スケジュール

桐朋オーケストラ・アカデミー
「友の会」会員募集中

※オーバード・ホールは「富山駅」そばです。

※演奏曲目・出演者等は変更になる場合もあります。演奏会等に関する最新情報は、本学ホームページ(<http://www.tohomusic.ac.jp>)をご覧ください。

※チケットは8月4日(火)より下記プレイガイドにて一斉発売予定。桐朋オーケストラ・アカデミー友の会会員・学生・生徒・児童の皆様は、無料でご入場いただけますが、満席となった際は入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。

チケット販売所 桐朋学園音楽部門富山キャンパス事務室、北日本新聞本社プレイガイド、アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)、ミヤコ楽器店
主催/桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学音楽学部、桐朋学園大学院大学、(公財)富山市民文化事業団、富山市、富山市教育委員会、(株)北日本新聞社 後援/富山県、(一社)富山県芸術文化協会
[お問い合わせ] 〒930-0138 富山市呉羽町 1884-17 桐朋学園音楽部門富山キャンパス事務部演奏課 TEL.076-434-6800

桐朋アカデミー・オーケストラ 2015秋季コンサート・スケジュール

9月26日(土) 特別演奏会



©Satoru Mitsuta

[指揮]

デリック・イノウエ *Derrick INOUE*

カナダ生まれの指揮者デリック・イノウエは、オーケストラの指揮とオペラの世界の両分野において輝かしい成果を挙げている。2003年にメトロポリタン・オペラでベルリオーズ作曲「ベンヴェヌート・チェッリーニ」の新演出を指揮しデビューを飾って以来、ブッチーニ「トスカ」、ドニゼッティ「ドン・パスカルーレ」、ベルリオーズ「ファウストの劫罰」、ワーグナー「ワルキューレ」などを指揮、2006-07年シーズンにはセントラルパークで「椿姫」を4公演指揮している。2001年から2003年は、ニュールンベルグ・オペラのファースト・カペルマイスターを務め

た。またシュトゥットガルト・オペラ、イングリッシュ・ナショナル・オペラ、ハンガリー・ステート・オペラ、ブカレスト・オペラとも共演。その他、ライブツィッチ放送管、モンテカルロ・フィル、フィンランド放送管、アイルランド・ナショナル響、フロリダ・フィル、ホノルル響、セント・ルークス管、トロント響、ナショナル・アーツ・センター管、バンクーバー響等と共演。また、ニューヨーク・シティ・オペラ、バンクーバー・オペラにはたびたび客演、また、カナダのレジナ交響楽団の音楽監督も歴任した。日本においては、これまでに、新日本フィル、大阪フィル、日本センチュリー管、京響、兵庫芸術文化センター管、仙台フィル、札幌、広響、群響、サイトウ・キネン・フェスティバル松本に招かれている。2006-07年シーズンには、広島オペラ協会の「フィガロの結婚」を指揮した。桐朋学園で小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の下で指揮を学び、その後、ラインズドルフ、フェラーラに師事。1985年にはヴィトリオ・グイ指揮コンクール(フィレンツェ)で優勝している。



[テノール]

アルノルト・ベズイエン *Arnold BEZUYEN*

ミラノ・スカラ座、ロスアンジェルス、バイロイト・フェスティバル、コヴェント・ガーデン、ウィーン国立歌劇場のような国際的カンパニーのベテランである彼の経歴は、アウグスブルクとプレーメンの歌劇場で、ピンカートン、ロドルフォ、トゥリッドゥ、「バラの騎士」の歌手、カッジオ、イズマエーレ、アルフレッド、および「ラインの黄金」のローゲなどを歌い始める。その後、1998年にジェームズ・レヴァイン指揮のバイロイト・フェスティバルで彼はデビューした。また同年、グスタフ・クーンとCDを録音した。そこでのデビュー以来、彼は独唱者として毎夏バイロイトに招聘されている。

2006年に、クリスティアン・ティーレマン指揮、タンクレート・ドルストの新演出のリング・ツィクルス(ニーベルングの指輪四部作)において、再度ローゲとして出演。彼は2シーズンの間、ウィーン国立歌劇場に雇用され、ウィーンと密接に関係していた。そこでの彼は、「魔笛」のタミーノ、「こ

もり」のアルフレッド、「ファルスタッフ」のドクター・カイウス、「さまよえるオランダ人」のエリック、「ルル」のアルヴァ、「アラベラ」のマッテオを歌った。08/09年のシーズンには、ロスアンジェルス・オペラハウスでリング・ツィクルスの新演出に初登場。ザルツブルグの復活祭フェスティバルではサー・サイモン・ラトル指揮で、バイロイト・フェスティバルではクリスティアン・ティーレマン指揮で再びローゲとして登場。09/10年のシーズンに、リュウベックで、ロマン・ブローリ・ザハール指揮の「ジークフリート」の新演出でミーメ役としてデビュー。11年には、ジェームズ・レヴァイン指揮の「ラインの黄金」でローゲとしてニューヨーク・メトロポリタン・オペラにデビューした。

コヴェント・ガーデンのロイヤル・オペラ・ハウスでは「ニュールンベルクのマイスター・ジンガー」のダーヴィット、ベルリン・ドイツ・オペラでは「アラベラ」のマッテオ、ハンブルク州立歌劇場では「イエヌーファ」のシュテヴァ、フランクフルトではヤナー・チェクの「プロウチェク氏の旅行」のプロウチェクとして、大いに成功した。

その他、アムステルダム、ボン、デュッセルドルフ、カッセル、ナポリ、シュトゥットガルト、東京、パレシヤなど世界各地で活躍中。

10月24日(土) 協奏曲のひとつ



[指揮]

円光寺 雅彦 *Masahiko ENKOJI*

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄、ピアノを井口愛子の各氏に師事。1980年、ウィーン国立音楽大学に留学し、オトマール・スウィトナーに師事。1981年に帰国後、東京フィルハーモニー交響楽団副指揮者に就任。1986年より1991年まで同交響楽団指揮者を務める。1989年より1999年まで仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者としてオーケストラの発展に貢献し、その実

績は高く評価されている。東京特別公演のライブをはじめ、仙台フィルとの演奏は多数CD化されており、その演奏からも両者の密接な関係を伺う事が出来る。1998年より2001年まで札幌交響楽団正指揮者を務め、2000年には、東京公演を指揮し好評を博した。他に、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団などに客演し、活動範囲を広げている。海外では、1992年ブラハ交響楽団への客演をはじめ、1994年BBCウェールズ交響楽団、1995年にはベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、1998年1月にはフランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、それぞれの地で、多くの聴衆を魅了した。国際的指揮者として、現在最も期待されている。2011年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団正指揮者に就任。2012年4月より桐朋学園大学院大学特別招聘教授に就任。

11月20日(金) 第51回 定期演奏会



[指揮]

小泉和裕 *Kazuhiro KOIZUMI*

京都生まれ。1969年東京芸術大学指揮科に入学、山田一雄氏に師事。70年第2回民音指揮者コンクール第1位受賞。

72年7月、新日本フィル創立に際し、指揮者として参加。同年ベルリンのホッホシュレに入学し、ラーベンシュタイン教授にオペラ指揮法を師事。73年夏、ポストンのタンゲルウッド音楽祭に参加し研鑽を積む。

73年、第3回カラヤン国際指揮者コンクールに第1位入賞。その後ベルリン・フィルを指揮してベルリン・デビューを飾った。

75年~79年、新日本フィル音楽監督を務める傍ら、75年ベルリン・フィル定期演奏会に登場、76年フランス国立放送管を指揮しルーベンシュタイン、ロスロポー・ヴィチとも協演、同年ザルツブルク音楽祭でウィーン・フィルを指揮、その後もミュンヘン・フィル、バイエルン放送響等、ヨー

ロッパ各地において精力的な指揮活動を行った。また、アメリカにおいても、78年ラヴィニア音楽祭でシカゴ交響楽団を指揮し大成功を収めた後、80年シカゴ響定期公演に登場し注目を集めた。その他、ボストン響、デトロイト響、シンシナティ響、トロント響、モントリオール響などにも客演。

83年~89年カナダのウニベグ響の音楽監督、86年~89年東京都交響楽団の指揮者を歴任。ロンドンのロイヤル・フィルには88年より定期的に招かれ、数々の名演を残すとともにチャイコフスキーの交響曲第4、5、6番のディスクを完成させた。

89年~96年九州交響楽団首席指揮者、92年~95年大阪センチュリー交響楽団首席客演指揮者、95年~98年東京都交響楽団首席指揮者、98年~2008年東京都交響楽団首席客演指揮者、03年~08年大阪センチュリー交響楽団首席指揮者、08年~13年東京都交響楽団レジデント・コンダクターおよび日本センチュリー交響楽団(旧・大阪センチュリー響)音楽監督を歴任。

現在、東京都交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団音楽監督、仙台フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団特別客演指揮者。16年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督。



[ピアノ]

岡田博美 *Hiromi OKADA*

富山県出身。安藤仁一郎、森安芳樹、マリア・クルチオの各氏に師事する。桐朋学園大学在学中、第48回日本音楽コンクールで第1位優勝。桐朋学園大学を首席で卒業後、1982年第28回マリア・カナルス国際コンクールで第1位(スペイン音楽解釈賞を併せて受賞)、83年第2回日本国際音楽コンクールピアノ部門第1位、84年第2回プレトリア国際コンクールにて第1位(リサイタル賞を併せて受賞)と、次々に優勝を果たし注目を集める。

84年よりロンドン在住。翌85年、ロンドンでデビュー・リサイタルを行い、「まさしく来るべきスター」(デイリー・テレグラフ紙)、「図抜けて確かなテクニックで、創造力に富む情熱的な音楽性」(タイムズ紙)と絶賛された。以後、ロンドンを中心にヨーロッパ各地で演奏活動を続けながら、日本においても、毎年意欲的なプログラムによるリサイタルを開催し、好評を博している。93年のショパン・エチュード全曲演奏に対して第20回日本ショパン協会賞を受賞している。

オーケストラとの協演も多く、日本フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団ほか、フィルハーモニー管弦楽団BBC交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、イギリス室内管弦楽団等、海外のオーケストラとも協演しており、古典から現代曲までの幅広いレパートリーで聴衆を魅了している。2011年は5月にイギリスにてフィルハーモニー管定期演奏会にてベートーヴェンの『皇帝』を演奏し好評を博した。

室内楽にも積極的に取り組んでおり、ウィーンフィルのメンバーやヴァイオリンの天満敦子、川島成道らと共演し、話題を呼んでいる。

各地の音楽祭へもたびたび出演しており、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ・フェスティバル(フランス)、グレート・ロマンティクス・フェスティバル(カナダ・ハミルトン)、イスタンブール国際ピアノ・フェスティバル、シュタインバッハ音楽祭(オーストリア)、東京の夏音楽祭、草津音楽祭などに出演。近年は、カナダ、日本でマスタークラスを開催し後進の指導もおこなっている。

録音も多く、カメラータ・トウキョウからは継続的にソロ、室内楽の分野でCDが発売され、いずれも高い評価をもって迎えられている。

15年4月より桐朋学園大学院大学教授に就任。